

# 家庭医療べんきょう会

## —大学で得られない体験と知識—

代表者 大崎崇正 (医学B4年)

構成員 原賀健一 (医学B6年) 巴悠記 (医学B5年) 久松健一 (医学B5年)  
松尾美結 (医学B4年) 伊藤涉 (医学B4年) 野崎己都美 (医学B3年)  
川端友紀子 (医学B3年) 山本麻紀子 (医学B3年) 福原茜 (医学B2年)  
深掘洋佑 (医学B2年) 桂寧々 (医学B2年) 重本航輝 (医学B2年)  
伊藤沙妃 (医学B2年) 岡村海志 (医学B2年) 酒井ありさ (医学B2年)  
小山恭奈 (保健B2年) 今村一騎 (医学B1年) 森永敏文 (医学B1年)  
白坂菜津子 (医学B1年) 糸永有伽 (保健B1年)

### 1. はじめに ~家庭医療べんきょう会について~

私達「家庭医療べんきょう会」は地域医療や総合診療、多職種連携に興味を持つ学生が自主的にこれらについて学ぶサークルです。メンバーは山口大学と山口県立大学の医学生・看護学生です (おもしろプロジェクトの構成員には山口大学の学生のみ記載)。本格的な活動開始から3年弱のまだ新しいサークルですが、月1回程度の定期的なイベントを企画・運営し、精力的に活動しています。昨年度は、①エキスパートを招聘しての講演会・セミナーの開催、②へき地診療所実習、③宇部市民の方々との宇部市の医療についての意見交換会を3つの柱として活動を行ってきました。今年度は「継続」をテーマに前年の活動とともに一つの地域に継続的に関わるような活動・学内でのイベントの活性化を目指して活動してきました。

### 2. 2017年度上半期の主な活動内容

- 5月2日 Workshop「木を見て森を見る」、僻地診療所実習・鹿野力いいとこ発見委員会報告会
- 6月3日 徳田安春先生来る！Dr.Gと語る！闘魂塾 in 長州藩 共催
- 6月12日 講師招聘のためのミーティング
- 6月27日 ミーティング
- 6月27日 総合診療の伝道師齊藤先生による医療面接技法レクチャー
- 7月1日 病院版T&A (Triage & Action) コース ミーティング
- 7月2日 病院版T&A (Triage & Action) コース 共催
- 7月3日 まちなか保健室の方々とのミーティング
- 7月8日-9日 ひと夏の身体診察 本物の診療所で身体診察を学び、揺さぶれの心！共催
- 8月17日 やまぐち地域医療セミナーに参加
- 9月16日-17日 文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」「総合診療医育成セミナー」日本代表MeTs参加
- 9月28日 地域医療セミナー2017 報告会
- 10月4日 ミーティング
- 10月8日 小児T&A コース共催

### 3. エキスパートを招聘しての講演会・セミナー

今年度は独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 本部及びJCHO 東京城東病院顧問の徳田 安春先生を皮切りに去年から引き続き、総合診療部・准教授の齊藤裕之先生をお招きしてセミナーを行いました。また、7月にはおもクロとの共催でひと夏の身体診察を実施し、その際には20名を超える医師や住民の方々と共に地域医療について考える機会となりました。今年度はさらに12月に当べんきょう会主催の講演会の実施を予定しており、現在実施の準備を進めています。



徳田安春先生来る！Dr.G と語る！闘魂塾 in 長州藩



総合診療の伝道師齊藤先生による医療面接技法レクチャー

#### 4. へき地診療所実習・在宅診療所実習

2015年度から山口大学医学部医学科 3年次のカリキュラムから地域医療実習がなくなり、医学科の学生が山口県内の地域医療の現場を体験する機会は大いに失われました。そこで、家庭医療べんきょう会のメンバーからの「離島医療を体験してみたい」という意見と併せて「へき地診療所実習」を企画することとしました。山口県立総合医療センターへき地医療支援部の原田 昌範先生にご支援頂き 2017年2月~3月にかけて、大島、見島で実習を行いました。今年度も2018年2月~3月にかけて、実施を予定しています。また今年度は在宅医療を積極的に行っている医療機関での実習も予定しています。



僻地診療所実習・鹿野カイトコ発見委員会報告会

## 5. 宇部市民の方々と宇部市の医療についての意見交換会

これまで地域住民と医療従事者の間の接点は、診療の他には市民公開講座という形式で、医療従事者が市民に現在の医療のトピックスや最近の知見を説明するというものが主でした。この形式では質疑応答の時間を除き、基本的には一方向であり、市民が医療従事者と十分に意見を交わすということは困難です。そこで、市民が医療従事者および行政職員と和気藹々とした雰囲気の中で医療や医療に対する市・県の取り組みについて自由に質問し、意見を交換することができる機会を設け、医学生・看護学生が両者の間の橋渡し役を担うというコンセプトの下、ワールドカフェ形式の意見交換会「YUME カフェ」を企画し、2月5日に開催しました。市民の方だけでなく、地域の医療従事者も多く参加し、40名を超える参加者と学生、医師が様々な視点からコミュニケーションをとることができました。今年度は地域に学生が出向き、レクチャー+ワールドカフェを行っていく為に計画を練っているところです。場所は宇部市小野地区の予定で、5ヶ所全10回を予定しています。このプロジェクトには山口大学医学系研究科環境保健医学分野 助教の長谷亮佑先生のご協力のもと、進めています。



YUME カフェの新聞記事

## 6. 対外宣伝広告の報告

島根大学で行われた文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業 「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」「総合診療医育成セミナー」日本代表 MeTs 参加に参加し、これまでの活動について、おもプロについての広報活動を兼ねてプレゼンテーションを行ってきました。医学教育についてや学生の課外活動についてのプレゼンテーション大会である MeTs において、審査委員長賞を頂き、多くの同じ意識を共有できる仲間を多くけるとともに、他大学の学生にもおもプロの意義などを知ってもらうことが出来ました。



受賞記念撮影

## 7. 今後の活動について

家庭医療べんきょう会には様々な興味をもつ学生が集まっています。そこで、これまでの活動とミーティングの結果、家庭医療べんきょう会の部会という形で独立プロジェクトとして立ち上げ興味のある活動に参加できるような仕組みを作りたいと思っています。そこで、今までの活動から生まれた各テーマをプロジェクト化し、興味を持ったコアメンバーが中心となって実施して予定です。



プロジェクト一覧